

第25回バイオマス活用総合講座

開催案内

開催日:2026年7月30日(木)~31日(金)

(2日間の連続研修)

場所:オンライン研修(Zoom)

第25回バイオマス活用総合講座 開催要領

一般社団法人日本有機資源協会

1. 名称	バイオマス活用総合講座
2. 趣旨	<p>バイオマス活用の価値・便益には、温室効果ガス排出量の削減、エネルギー自給率の向上、化石燃料購入による資金流出の抑制、地域レジリエンス強化、産業の競争力の強化、地域産業の育成、雇用の創出などがあります。2050年カーボンニュートラルの目標達成や循環型社会の形成に果たす役割は大きいです。</p> <p>健全なバイオマス活用の推進のためには、地域にあるさまざまな原料・燃料バイオマス資源から、①バイオ燃料、電気・熱などの再生可能エネルギー、②飼料、堆肥、バイオマスプラスチックなどのマテリアルを持続的に生産し利用する仕組みを、最新施策や技術開発の動向を踏まえて作り上げていくことが必要です。</p> <p>一般社団法人日本有機資源協会は、「有機性資源の総合的な有効利用の促進を図り、持続可能な循環型社会の構築と環境保全に寄与する活動を推進する」ことを目的に設立され、バイオマス活用推進のため様々な事業を展開しています。</p> <p>今年度も人材育成事業として、バイオマス活用全般についての知識の習得を目的に「バイオマス活用総合講座」を開催いたします。</p> <p>本研修において所定の成績を収めた研修修了者は、(一社)日本有機資源協会によって「JORAバイオマスアドバイザー(初級)」として認定され、(一社)日本有機資源協会が実施を予定している「バイオマス活用アドバイザー養成研修」「メタン発酵技術アドバイザー養成研修」等の受講資格を取得したことになります。</p>
3. 研修内容	<p>バイオマス活用全般について必要とする知識の習得を目的として実施します。</p> <p>講義内容は添付の「講義概要」を参照してください。</p> <p>※ オンライン(Zoom)による研修となります。</p>
4. 実施日程	<p>2026年7月30日(木)～31日(金)(2日間の連続講座)</p> <p>添付の「日程」を参照してください。</p>
5. 実施場所	<p>オンライン(Zoom)</p> <p>電話：03-3297-5618(協会事務局)</p>
6. 受講資格	<p>受講時満20歳以上の者(20歳未満の学生の場合は、要相談)</p>
7. 受講者定員	<p>30名程度とし、申込受付の先着順で定員に達し次第締切ります。</p> <p>また、催行最小人数(10名程度)に満たない場合は、開催を中止することがあります。</p>

8. 受講申込方法	<p>2026年7月24日(金)までに、様式1の「バイオマス活用総合講座受講申込書」に必要事項を記入し、電子メールにて（一社）日本有機資源協会 事務局（kensyu@jora.jp）まで送付してください。申込受付後、申込受領完了メールを事務局からお送りします。事務局からのメールが届かない場合は、お申込みが届いていない可能性がありますので、その際には必ずお電話でご連絡ください。</p> <p>申込受領後、第9項記載の受講料請求書を送付いたしますので、お振込みをお願いします。</p> <p>※受講に際しては、次の事項は禁止行為となりますのでご注意ください。 なお、禁止事項に関する誓約について、様式1の申込書下部にご署名とチェック欄がございますので、必ずご記入ください。（押印は不要です。）</p> <p>①申込受講者以外の同時聴講 ②電子ファイル資料の受講者以外へ転送等 ③録画及び録音 ④資料の複製</p> <p>（一社）日本有機資源協会 事務局 E-mail : kensyu@jora.jp</p>
9. 受講料	<p>本研修の受講料は下記のとおりです。なお、費用は前納としますが、事情により前納が困難のときは、事務局までご連絡ください。なお、受講料の対象となる費用は、聴講料、教材費、消費税込みとなります。</p> <p>①（一社）日本有機資源協会 会員価格 60,500円（税込み）／1名 ※受講に合わせてご入会頂くことも可能です。</p> <p>② 一般（非会員） 一般価格 77,000円（税込み）／1名 日本有機資源協会が定める学生資格者は、49,500円（税込み）／1名</p>
10. 受講料納入方法	<p>受講料は下記口座にお振込みください。（振り込み手数料は、受講者負担）</p> <p>銀行名：三井住友銀行 神田支店 銀行コード 0009 支店コード 219 種別：普通預金 口座番号：2036073 口座名義：一般社団法人日本有機資源協会 イツパンシヤダンハウジンニホンユウキシゲンキヨウカイ</p>
11. 受講者に対する本講座の効果	<p>①本研修（2日間）修了者は、バイオマスの活用について、必要な基本的知識を習得したことになり、（一社）日本有機資源協会によって「JORAバイオマスアドバイザー（初級）」として認定されます。</p> <p>②本研修における研修修了考査において所定の成績を収めた研修修了者は、バイオマス活用、コンポスト生産管理、メタン発酵技術等について基本的知識を習得したことを認め、（一社）日本有機資源協会が実施を予定している「バイオマス活用アドバイザー養成研修」「メタン発酵技術アドバイザー養成研修」等の受講資格を取得したことになります。</p>
12. 本件連絡先	<p>一般社団法人日本有機資源協会 事務局（土肥・村越・名和） 〒104-0033 東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館301号室 TEL: 03-3297-5618 E-mail kensyu@jora.jp</p>

第25回バイオマス活用総合講座 日程

開催日：2026年7月30日(木)～31日(金)

開催場所：オンライン(Zoom)

開催日	時間	講習内容	講師
1日目 7/30 (木)	8:50～	受付	
	9:00～9:10	オリエンテーション	事務局
	9:10～9:20	開講にあたっての挨拶	一般社団法人日本有機資源協会
	9:20～10:20	バイオマス概論	袖山 義人(日本農業工学会フェロー・京都大学農学博士)
	10:20～10:30	(休憩)	
	10:30～11:00	バイオマスを巡る情勢	農林水産省
	11:00～11:10	(時間調整・休憩)	
	11:10～12:30	バイオマスエネルギー概論	芋生 憲司((一社)日本有機資源協会 会長・東京大学 名誉教授)
	12:30～13:30	(休憩)	
	13:30～14:50	メタン発酵	石井 一英(北海道大学工学研究院 教授)
	14:50～15:00	(休憩)	
	15:00～16:00	炭化	凌 祥之(元九州大学大学院農学研究院教授・日本炭化学会会長)
	16:00～16:10	(休憩)	
	16:10～17:10	バイオマスプラスチック	鈴木 稔((一社)日本有機資源協会 事務局 主幹)
17:10～18:10	交流会(ネットワーキング)	事務局	
2日目 7/31 (金)	9:20～10:20	飼料化(エコフィード)	高橋 巧一(㈱日本フード・エコロジーセンター 代表取締役)
	10:20～10:30	(休憩)	
	10:30～11:30	堆肥(コンポスト)化	牛久保 明邦(東京農業大学 名誉教授)
	11:30～13:00	(時間調整・休憩)	
	13:00～14:20	木質バイオマス	澤田 直美(真庭バイオマス発電株式会社 所長)
	14:20～14:30	(休憩)	
	14:30～15:30	バイオ液体燃料	山根 浩二(滋賀県立大学 名誉教授)
	15:30～15:40	(休憩)	
	15:40～16:40	微細藻類・草本系バイオマス (5分休憩) 地域バイオマス活用システム	土肥 哲哉((一社)日本有機資源協会 事務局 主任)
	16:40～17:10	研修修了考査	事務局
17:10～17:30	研修修了考査解答説明	事務局	
		閉講にあたっての挨拶	一般社団法人日本有機資源協会

※講師の所属先や役職は、変更・更新される場合があります。

第25回バイオマス活用総合講座 講義概要

番号	講義名(仮)	概 要
1	バイオマス概論	バイオマスを活用する意義, さまざまな変換技術, 計画策定から運営に至るプロセス, 最近の話題等
2	バイオマスを巡る情勢	「バイオマス活用推進基本計画」や「バイオマス利用技術の現状とロードマップ」の最新動向、バイオマス活用の取組の最新情報等
3	バイオマスエネルギー概論	エネルギー利用を中心としたバイオマス活用概論 廃棄物系バイオマス(家畜ふん尿、食品残渣、下水汚泥)と木質バイオマスを活用した発電や熱利用についての概要等
4	飼料化(エコフィード)	エコフィードシステムとは、エコフィードの必要性と可能性、エコフィード飼料化事業の類型と事例、エコフィードシステム構築の手順、エコフィード給与試験例等
5	堆肥(コンポスト)化	堆肥(コンポスト)化とは、原材料、方式、条件、留意点、堆肥(コンポスト)製品の品質と施用における留意点、利用の推進等
6	バイオマスプラスチック	バイオマスプラスチックとは、バイオマスプラスチックに関する検討経過、生分解性プラスチックとバイオマスプラスチック、バイオスマーク(認証システム)、技術動向、課題と展望等
7	メタン発酵	メタン発酵の原理および操作因子、国内外におけるメタン発酵事例、液肥および再生敷料の生産、メタン発酵を基幹施設としたバイオマス活用推進の構築等
8	木質バイオマス	持続可能な社会と森林バイオマス、木質バイオマスの利用方法、木質バイオマスの利用事例、バイオマス導入の工夫、新ビジネスモデル等
9	炭化	炭化とは、炭化炉の種類、炭化の現状、炭化物の機能(既往の活動成果)、炭化の問題点、炭化技術の展望、炭化に関する国際的な動向、炭化と地球温暖化防止(炭素貯留)等
10	バイオ液体燃料	バイオ液体燃料とは、バイオ燃料製造の現状と将来展望、バイオディーゼル燃料等
11	微細藻類・草本系バイオマス	微細藻類バイオマスやエリアンサス等の草本系バイオマスの利活の概要と事例を紹介する。
12	地域バイオマス活用システム	地域バイオマス活用システムの考え方、バイオマス資源化利用の現状と課題、地域バイオマス活用システムのケーススタディー、バイオマス推進計画の策定方法と留意点等
13	研修修了考査	各講義内容の習熟度を確認するための考査(20問程度)
14	研修修了考査解答説明	研修修了考査の解答説明
15	交流会(ネットワーキング)	受講生全員で Web 上での交流会を行います。

※ 番号は講義順とは異なります。

また、概要は開催案内作成時点のものであり、変更・更新される場合があります。